

【スピーチの部(10/24)：実施要領】

- 1 参加資格 (1) 各地区の代表者であること。
(2) 英語のネイティブスピーカーは不可。(留学生など、一時的に在籍している生徒のこと)
※全国大会出場枠のため第1部と2部の生徒の区別をしますが、全道大会は従来通りに競技を行います。
第1部参加資格生徒：下記(a)～(c)のいずれにも該当しない生徒
第2部参加資格生徒：下記(a)～(c)のいずれか一つに該当する生徒
(a) 満5歳の誕生日以降に、通算1年以上または継続して6ヶ月以上、英語圏(英語を第一言語、公用語、または公用語に準ずる言語として使用する国、地域)に居住した生徒。
※英語圏詳細については全英連HPを参照)
(b) 日本国内、海外を問わず、6ヶ月以上、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校(アメリカンスクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む)に在籍し、その教育を受けたことのある生徒。
(c) 満5歳の誕生日以後に、保護者または同居親族に、英語を母語とする者、もしくは英語圏出身の者がいる場合。
- 2 各地区からの出場者数 (1) 地区大会の参加者数が10名以下の場合 1名
(2) " 11名から17名の場合 2名
(3) " 18名から24名の場合 3名
(4) " 25名以上の場合 4名
- 3 参加費 2,000円(当日会場にて納入してください。動画審査時は所定の口座に振り込みとなります)
- 4 演 題 地区大会で発表したものとする。
タイトルとテーマの変更がない限り多少の訂正を認めるが、申込後の変更は一切認めません。
- 5 制限時間 4分30秒～5分30秒(開始後4分30秒で1回、5分で1回、5分30秒で2回ベルを鳴らします。)
- 6 審 査 (1) 審査基準
- | | |
|----------------------|-----|
| ① 内 容 (Content) | 10点 |
| ② 英 語・態 度 (Delivery) | 10点 |
| ③ 応 答 (Q & A) | 4点 |
| ④ 時 間 (Time) | 1点 |
| 合 計 | 25点 |
- ※スピーチ及び応答(Q&A)にマイクを使用します。
※Yes-No、Wh-、Howの区別なく質問は2つされます。
- (2) 審査員 審査団は8名程度で構成するものとし、そのうち英語を母国語とする審査員を1～2名含みます。専門委員を含め経験ある教員を審査員に加えるものとし、その教員の学校の生徒が競技に参加している場合、その生徒については審査をしないこととします。各審査員による審査ポイントのうち、最も高いものと、最も低いものは全体の審査に反映させないこととします。審査ポイントの平均点が生徒の得点になります。
- 7 表 彰 1位から5位を表彰します。特別賞1名
上位2名は全国大会への出場権が与えられます。その内訳は、第1部参加資格生徒で最上位の生徒と、その生徒を除く最上位の生徒になります。第14回全国高等学校英語スピーチコンテスト(令和4年2月13日(日))への出場権が与えられます。
- 8 申込方法 全道大会の出場権を得た生徒は次の2点を全道事務局にメールで提出してください。
(1) 出場申込書
(2) スピーチ原稿[A4縦 横書き(余白22mm, 文字数44, Wordにて作成)
タイトル・名前・学校名・本文の順にお願いします。添付ファイル名は学校名+生徒氏名
※出場申込書は、国際交流専門部HP(<https://kokusaiouryu.jp.net/>)よりダウンロードできます。
※メール送信先：道高文連国際交流専門部事務局(札幌国際情報高校) 担当：小林 康洋
MAIL: koba0922@hokkaido-c.ed.jp
- 9 申込締切 令和3年10月1日(金)までに出場申込書+スピーチ原稿をメールで提出してください。
支部の開催時期により申込が間に合わない場合は事前にお知らせください。
- 10 そ の 他 過去の全道大会のスピーチ原稿等資料が必要な方は事務局にお問い合わせください。
全国大会への参加生徒及び引率教員の旅費、宿泊費については、参加校の負担になります。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、動画審査へ変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 11 事務局 札幌国際情報高校 小林 康洋
TEL: 011-765-2021 MAIL: koba0922@hokkaido-c.ed.jp